



# 皇學館

学園報 第62号

発行・編集  
学校法人皇學館 企画部  
TEL 0596-22-6496・8600

大学 大学院 専攻科 〒516-8555  
文学部 教育学部 三重県伊勢市神田久志本町1704  
現代日本社会学部 TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704  
高等学校・中学校 三重県伊勢市楠部町138  
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)  
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

## 注目記事

2面  
本学・明和町 地方創生産学官連携  
「日本酒プロジェクト」始まる

3面  
新任教職員紹介

4・5面  
フィールドワーク・遠足・  
伊勢志摩サミット授業報告

6面 (高校・中学校)  
3年 中川さんがジュニア・サミット  
ボランティアに参加 ほか

7面  
人事異動

8面  
平成27年度 卒業生就職状況

## 連載

3面  
卒業生奮闘中!  
大田 勲 さん(株大田酒造 代表取締役)

8面  
皇學館ミュージアム 歌舞伎衣裳  
着付 白地下藤文様 繻



厳粛な雰囲気の中、挙行された入学式



各学部の代表者が宣誓を読み上げた

### 世界と地域社会を舞台に活躍を

小雨が降りながらも桜が満開のキャンパスで、午前10時、入学式が始まり、記念講堂は希望に胸を膨らませる新入生の熱気に包まれた。

清水潔学長は国歌斉唱の後、令旨を奉読。続く

式辞では新入生に対して、栄えある本学の学生として入学を許可することを宣言し、祝福した。そして本学の創設から再興までの歴史、「建学の精神」について説明。わが国の歴史と伝統に基づく学問

四月四日、本学記念講堂において平成二十八年度入学式が挙行された。今年度の入学生は、大学院十五名、専攻科二十四名、学部生七〇六名、学部転入・編入・学士入学四名の計七四九名だ。

## 平成二十八年度皇學館大学入学式 新入生七四九名が新生活をスタート

「意欲・能力のある学生が積極的に海外留学し、見聞を広めながら語学力を高め、日本文化を発信する力を身に付けることが期待される。本学としても積極的に支援していく」と語った。一方で「少子化、高齢化、過疎化など地方の衰退を打開するには、若者の力が必要」と語り、本学では自治体や地域、産業界との連携協定を結び、一体となつて地域貢献人材を育成し

### 希望あふれる新生活へ

文学部を代表して宣誓を読み上げた神道学科の吉田健真君は「高校時代一人旅をしたときに、全国各地の神社の厳粛な雰囲気に触れ、神道の自

めくった。続いて、佐古一洸理事長は告辞で「慎之、莫怠」常に謙虚な姿勢で、日々着実、積極的に歩みを進め、悔いのない青春を送ってほしい」と新入生に激励の言葉を贈った。式終了後、新入生らは外宮及び内宮を参拝し、大御神に入学を奉告した。



伊藤陽介君 (教育学科) 吉田健真君 (神道学科)



杉本秀司さん (神道学科) 野中大暉君 (現代日本社会学科)

気込みを語った。教育学部代表の伊藤陽介君は小学校の先生をめざして本学を選んだといい、「中高から野球やギターを続けているので、学生生活では一層打ち込みたい」と語った。現代日本社会学部代表の野中大暉君は、「公務員をめざしている。大学生生活はとにかく楽しんで学んでいきたい」と意

## 平成二十八年度皇學館中学校・高等学校入学式 世界へ羽ばたく力を養って

麗らかな春の日差しが降り注ぐ中、四月七日に第三十八回皇學館中学校入学式が、同月十一日に第五十四回皇學館高等学校入学式が挙行された。新たな門出を祝うかのように校内には桜が咲き揃い、新入生たちを温かく出迎えた。

皇學館中学校では今年度入学式が四月七日に行われ、三十八名が入学。皇學館高等学校では同月十一日に実施され、三十八名が入学を許可された。真新しい制服に身を包んだ新入生たちはこれから迎える学校生活への期待を胸に、やや緊張した面持ちで式に臨んでいた。

桂一校長(七面に就任の挨拶を掲載)が令旨を奉読。続く式辞で上村校長は、「皆さんが入学した皇學館のめざすところを具体的に述べているのが、賀陽宮邦憲王殿下の令旨です。ここには、『本学園の学生は正しい学問をし



式辞を述べる上村校長

四月に新たに着任した上村桂一校長(七面に就任の挨拶を掲載)が令旨を奉読。続く式辞で上村校長は、「皆さんが入学した皇學館のめざすところを具体的に述べているのが、賀陽宮邦憲王殿下の令旨です。ここには、『本学園の学生は正しい学問をし

れは百年の時を超えて、変化の激しいこれからの時代を生きる皆さんに求められる能力、すなわち、確かな知識・技能、それらを活用する力、自ら学ぶ力と重なりま

い。そのためにも、大きな夢を持ち、互いの個性や能力を認め合い、助け合いながら互いを高めていく良き仲間であってほしい」と訴えた。

上村校長の言葉を受けて、皇學館中学校では河村隆雅君が、皇學館高等学校では山川ひよりさんが力強い言葉で入学宣誓をし、新たな学校生活の第一歩を踏み出した。



新入生を代表して入学宣誓をする山川さん

皇學館中学校では河村隆雅君が、皇學館高等学校では山川ひよりさんが力強い言葉で入学宣誓をし、新たな学校生活の第一歩を踏み出した。

## 倉田山 春秋

伊勢志摩サミットが開催された。本学は首脳会談であるサミット本体と接点はないが、なにより伊勢志摩という地域名が世界に紹介されることに大きなメリットがある。ぜひ、伊勢志摩サミットの共同声明で発表された」という形容のつく成果の発信を期待したい▼伊勢志摩は日本国内であれば相当の知名度をもつが、日本を一步出れば無名の地である。ミキモトの真珠は知られていてもその発祥地を知ろうとする人は少なくなってしまう。昭和五十年にエリザベス二世が御木本真珠島を訪れたことすら記憶が薄らいでいる▼日本で真田の養殖真珠が発明される以前はパリのローゼンタールが天然真珠を広く扱っていた。しかし、御木本幸吉が市場を席巻し、養殖真珠はにせ物というキャンペーンが張られた。それを覆すことになったのは大正十年にオックスフォード大学のリスター・ジェイムソン教授がネイチャー誌に載せた論文だった(山田篤美『真珠の世界史』)▼真珠の展開史は、地域資源に磨きをかけ、グローバルをめざす本学と同じ方向性をもつように見える。伊勢は世界に開かれた「重波」の寄せる国である。

本学・明和町 地方創生産学官連携

# 「日本酒プロジェクト」始まる

本学と明和町が連携し、日本酒造りプロジェクトを立ち上げた。爽やかな風が吹き渡った五月十四日、明和町前野の水田には本学の学生と明和町の関係者らおよそ三十名が集まり、御田植祭を執り行った後、日本酒の原料となる酒米の苗を植えた。

## 稲作、六次産業化の実践を通し 地域に貢献できる人材を育成

本学では神道精神に基づき、成を教育目標の一つに掲げ、人間性豊かな人材を育てている。そこで、神道



松幸農産の管理下のもと20センチほどに成長した苗を、地域インターンシップ及びCLL活動として参加した学生13名が植えた

と関わりの深い稲作に関わる実習を学生たちに体験させたいと、明和町の農業生産法人・松幸農産と伊勢市の酒造会社・伊勢萬の協力を得て学生による日本酒造りを計画。折しも、明和町から国の地方創生加速化交付金事業として参画したいとの



明和町では斎宮にまつわる取組みが昨年4月に文化庁より日本遺産として認定されたことから、特産品・土産物などの開発を進めており、地方創生加速化交付金をこのプロジェクトに充てる。予算は2500万円。なお、次年度以降も同事業を継続して進めていくという

申し出があり、明和町の旭酒造も加わって産学官連携による一大プロジェクトが立ち上がった。

四月二十七日に開かれた本学、明和町等との共同記者会見で清水潔学長は「明和町様とのこれまでの実績の上に新たな連携事業が成立したことを嬉しく思う。また、産業界を含めた連携は今回が初めてで、協力各社の方には誠に感謝に堪えない。地方創生推進に直接

域活性化に資する人材を育てたいと話した。

明和町の中井幸光町長は「特産品の一つとして世に出し、地域ブランドとして育てたい」と語り、

「町としても観光、地場産業の育成に産学官で取り組むのは今回が初。これが一つのベース（モデル事業になるのでは）」とプロジェクトの意義を語り、朝倉正浩企画担当係長も「単なる行政と大学との連携ではなく、神宮、神道と縁の深い皇學館大学だからこそ実現した企画」と期待を込めた。

### 三重県産の酒米「神の穂」を田植え

五月十四日には明和町前野にある本学職員所有の水田に関係者一同が集い、豊作を祈念する神事・御田植祭を執り行った

後、三重県が開発した酒米「神の穂」の苗を手で丁寧に植えた。合間には雅楽部による演奏もあり、辺りは雅な雰囲気。



祭式研究部と雅楽部により執り行われた御田植祭

## 新たに5活動が加わり より多彩に

### 平成28年度 CLL活動の学生募集説明会を開催



説明に耳を傾ける学生たち

地知の拠点整備事業の一環として始まったCLL（コミュニティ・ラーニング・ラボ）活動。学生が三市五町（伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町）の方々と地域の課題解決に取り組むこの活動には今年度新たに五つのプロジェクトが加わり、現在八つの活動が計画されている。その学生募集説明会が四回開催され、のべ百名以上の学生が参加した。

四月二十七日、二一教室において実施された第一回説明会には「産学官連携日本酒プロジェクト」と「皇學館みらい対話団」が登壇。集まった約三十名の学生を前に担当市町の職員や指導の教員、既存メンバーが活動

の趣旨や目的を語り、参加を呼び掛けた。五月十一日の第二回は「TMF（玉城ミュージックモンスターフェスティバル）実行委員会」「伊勢河崎商家リノベーションプロジェクト」同月十八日の第三回は「伊勢おもてなしヘルパー」「南伊勢町電集落の歴史文化継承プロジェクト」六月一日の第四回は「さらに志摩びと紹介番組放送事業プロジェクト」「あばばい（伊勢志摩国立公園指定70周年実行委員会・学生部会）」が説明を行った。昨年度参加した学生からは机上では得られない貴重な経験ができたという声が多く寄せられている。地域の活性化に向け、意欲ある学生の参加を期待したい。

## 田浦教授が英で伊勢をPR



スピーチを行う田浦教授

伊勢志摩サミットを前に欧州に向け伊勢の魅力PRし

ようと、鈴木健一伊勢市長一行とともに本学の田浦雅徳国史学科教授が訪英。四月十八日、二十日の両日、ロンドンの日本大使館などで観光セミナーを開催し、神宮や海女などの伝統文化の紹介、伊勢うどんや地ビールの振る舞いのほか、本学の歴史や神宮、伊勢市とともに発展してきたあゆみなどについて田浦教授がスピーチを行った。

このPRイベントは本学と伊勢市との包括連携協定に基づいて実現したもの。会場には日本文化に詳しい英国人識者や観光関係者ら二日間でのべ百八十名ほどが集まり、アンケートでは「これほど興味深い日本文化に関するイベントは初めて」「今年中に伊勢を訪れたい」といった回答が寄せられるなど好評を博した催しとなった。

## 伊勢志摩サミット

## 英国公式プレス訪問団との交流会を開催

五月二十六日午後、伊勢志摩サミットの取材のため、英国のデーヴィッド・キャメロン首相らと共に来日した公式プレス一行二十二名（政府関係者七名含）が来学した。

当日はサミットによる交通規制の影響により学校閉鎖日であったが、特別に編成した教職員・学生合わせ総勢七十名が一行を迎え入れた。祭式教室での交流会ではまず冒頭に河野訓副学長が歓迎の挨拶を行い、本学と英国との交流等について述べた。続いて行われた本学雅楽部による「蘭陵王」の演奏に一行は興味津々で、急速撮影カメラを回す光景も見られた。また、演奏終了後の懇談では本学学生との英語での交流を楽しんだ。



【4月27日】三重県主催歓迎会（賢島・宝生苑）にて

一行のひとり、英国大使館一等書記官のグレイ・アム・ネルソン氏は「雅楽の演奏は圧巻だった。本国では決して体験できないものだ。英国では日本ブームが定着しており、サミットを契機に、伊勢志摩にも注目が集ま

ることを期待している」と感想を述べた。なお、本学雅楽部は四月二十七日にサミット開催地調査のために来日した英国政府先遣隊の三重県主催歓迎会の場でも「蘭陵王」を披露しており、今回が二回目の公演

となった。雅楽部委員長の阿竹健二君（神道学科三年）は、「欧米の皆さんの前で二度も公演したことは雅楽部史上、初めてのことであった。非常に反応がよくて、安心した。入念に準備してきた甲斐があった」と振り返った。

と感想を述べた。なお、本学雅楽部は四月二十七日にサミット開催地調査のために来日した英国政府先遣隊の三重県主催歓迎会の場でも「蘭陵王」を披露しており、今回が二回目の公演

新任教職員紹介

この春から新たに加わった教職員の方々を紹介します。

- ① 出身地・経歴等
- ② 趣味・特技等
- ③ 座右の銘
- ④ 一言メッセージ

皇學館大学

文学部神道学科准教授

板東 洋介



- ① 兵庫県◆東京大学文学部で哲学、同大学院で日本倫理思想史を学んだ後、日本学術振興会特別研究員などを経て現職
- ② 料理、水泳
- ③ 原始反終
- ④ 軽輩ながら、本学准教授を拝命致しました。一刻も早く諸々の「見習い」が肩書きからとれるよう、精進してまいります。

文学部コミュニケーション学科助教

桐村 喬



- ① 大阪府◆立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。前東京大学空間情報科学研究センター助教
- ② 旅行
- ③ 焦らずゆっくり
- ④ 情報を適切に扱い、効果的に用いる力を学生に伝えていきたいと思っています。

文学部神道学科助手

田井 健治

- ① 岡山県◆皇學館大学大学院文学研究科博士前期課程神道学専攻修了



教育学部教育学科教授

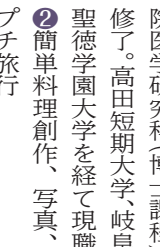
駒田 聡子



教育学部教育学科教授

駒田 聡子

① 三重県◆三重大学大学院文学研究科(博士課程)修了。高田短期大学、岐阜聖徳学園大学を経て現職



- ② 簡単料理創作、写真、プチ旅行
- ③ 食べることは生きること――バランスを考え素材から作った料理を食べることが健康と学力に結び付く
- ④ 最終目的をめざし、積極的に学びましょう。衣食住、その他悩んだときは研究室に来てください。

教育学部教育学科助教

小幡 章子

- ① 愛知県◆ノートルダム清心女子大学大学院人間生活学研究科博士後期課程修了



学生支援部  
短期大学部助教

- ② ドライブ、書道
- ③ 力なき正義は無力なり、正義なき力は暴力なり
- ④ 再びご縁をいただいたこの学舎で、皆さんと一緒に日々成長していきたいと思っています。

研究開発推進センター  
神道研究所助手

小林 郁



- ① 三重県◆皇學館大学大学院文学研究科博士前期課程国史学専攻修了、同後期課程中退
- ② 音楽鑑賞、博物館めぐり、イラストを描く
- ③ 努力は決して裏切らない
- ④ 学ぶ心を忘れずに、仕事を通じてさらに自分を高めていくよう、日々努力してまいります。

学生支援部  
入試担当書記補

井上 宗



- ① 兵庫県◆立命館大学経済学部卒。ブリティッシュユニバーシアード大学留学

② 陸上競技、コピー、旅行、写真、映画鑑賞

③ 未来を信じ、未来に生きる(末川博)

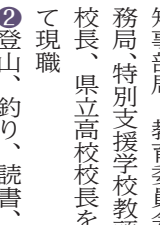
④ 持ち前の行動力を活かし、大学に新しい風が吹き抜けるよう尽力したいと思っています!!

入試担当事務嘱託職員

板垣 史郎



① 大阪府◆皇學館大学国史学科卒。奈良県立高等学校の国語教諭、奈良県知事部局、教育委員会事務局、特別支援学校教頭・校長、県立高校校長を経て現職



- ② 登山、釣り、読書、セーリング等々
- ③ 一隅を照らす
- ④ この度ご縁があり、本学で勤務させていただきます。

皇學館高等学校・中学校

高等学校常勤講師

上野 章夫



① 三重県◆前伊勢高等学校教諭

- ② 将棋
- ③ 日々の努力は必ず実る
- ④ 生徒の皆さんが有意義な高校生活を送り、進路目標が実現できるように頑張ります。

ことにあります。よろしくをお願いします。

附属図書館事務嘱託職員

北川 靖執



- ① 三重県
- ② 日曜大工、レトロ骨董品集め
- ③ 一日一善
- ④ 慣れないことばかりですが皆さんにご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、よろしく願います。

附属図書館事務嘱託職員

森本 紋菜



- ① 三重県
- ② 写真撮影
- ③ 初心を忘れない!
- ④ 学生の学習をサポートできるよう、附属図書館で一生懸命頑張ります。

高等学校常勤講師

堀山 玄太



① 三重県◆天理大学体育学部卒。津市立中学校教員を経て現職

- ② ゴルフ、野球
- ③ 継続は力なり
- ④ 今年からお世話になります。今までと違う環境ですので新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

高等学校常勤講師

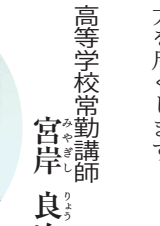
前川 航希



- ① 三重県◆皇學館高等学校卒、大阪教育大学教育学部卒
- ② バレーボール、バドミントン
- ③ 夢は逃げない。逃げるのはいつも自分
- ④ 皇學館高等学校の卒業生として、本校で学ぶ生徒の見本となるよう全力を尽くします。

高等学校常勤講師

宮岸 良次



① 三重県◆日本体育大学卒

- ② 魚釣り、ゴルフ、陸上競技指導
- ③ 初志貫徹
- ④ 体育教員らしく、元氣と笑顔を大切に頑張っていきたいと思っています。

高等学校常勤講師

堀山 玄太



① 三重県◆天理大学体育学部卒。津市立中学校教員を経て現職

- ② ゴルフ、野球
- ③ 継続は力なり
- ④ 今年からお世話になります。今までと違う環境ですので新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

高等学校常勤講師

前川 航希



- ① 三重県◆皇學館高等学校卒、大阪教育大学教育学部卒
- ② バレーボール、バドミントン
- ③ 夢は逃げない。逃げるのはいつも自分
- ④ 皇學館高等学校の卒業生として、本校で学ぶ生徒の見本となるよう全力を尽くします。

高等学校常勤講師

宮岸 良次



① 三重県◆日本体育大学卒

- ② 魚釣り、ゴルフ、陸上競技指導
- ③ 初志貫徹
- ④ 体育教員らしく、元氣と笑顔を大切に頑張っていきたいと思っています。

卒業生奮闘中!

大田 勲さん 株式会社大田酒造 代表取締役  
国史学科 第21期(昭和61年3月)卒



みなさん、日本酒は好きですか。という私も私は、現在伊賀市で清酒「半蔵」という銘柄で酒造業を営んでおります。じつは、私が造り酒屋の息子ではなく、家内の実家の家業です。それまでの仕事は三重県警察の科学捜査研究所に勤務していましたが、たまたま商売とは無縁でした。縁あって私が家内の実家を継いだころのこの業界は、安いお酒を多く売るといって薄利多売が横行する時代で、私の蔵も普通のお酒を販売する一般的な蔵でしたが、価格では大手にはかなわず、景気が悪くなり量も売れなくなり、さらに父が他界して製造計画の立て方も原料の手配も分からず、この先に不安を感じていました。しかし、このままでは厳しい経営状況から脱却できないと、純米酒や吟醸酒といった高級酒路線に切り替え、販売先も問屋だけに頼るのではなく、東京、大阪などの百貨店や地酒専門店などの販売網を増やしていききました。さらに、ここ数年は輸出も順調に伸びていっています。どの世界でもそうですが、不安を感じたら何かを変えてみるのが大切だと思います。とくに私は外から来た人ですので、既成概念にこだわることなく、その時感じたことを率直にやってみて成果だと思っています。それには冷静に外から自分を見る目が大事です。今でもこのやり方ではないのか、もっと変えていけば前に進むのではないのかと試行錯誤しています。私の前職場では真実一つですが、商売や人生は答えを一つに絞らず、その時々で考えていけばいいんだ道が開けると考えています。さて、最後になりますが、このたび開催されました伊勢志摩サミットのワーキングディナーにおいて、弊社の商品「純米大吟醸 半蔵」が乾杯酒としてG7首脳の盃に注がれるという最高の名誉をいただきました。三重で生まれ、三重で学んだ私にとって、最高のご褒美となりました。とをこの紙面をお借りして報告させていただきます。

平成二十八年熊本地震

約八万円を寄付

皇學館大学ボランティアルーム



四月十八日、十九日の両日、皇學館大学ボランティアルームでは学内で熊本地震への募金活動を行い、八万八千九百九十九円を日本赤十字社に寄付した。ボランティアルームでは、東北大震災やネパール地震等が発生した際にも募金活動を実施しており、今回の募金活動で四回目となる。募金にあたっては事前にツイッターやフェイスブックで学生向けに告知。そして、この度の熊本地震で被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。また、日頃より本学の教育・研究活動に対しご理解・ご協力をいただいている神社の方々におかれましても、甚大な被害に遭われましたこと、心よりお見舞い申し上げます。本学では一日も早い復興を願っている限りの支援を行ってまいります。 学校法人 皇學館



近代的な街を背景にした美しい港

広大な敷地の大学の一角にある UBC 人類学博物館も見せてもらった。カナダだけでなく、アジア・欧米などあらゆる地域から収集された人類史や文化に関連する展示が充実しており、さまざまな文化に触れることができた。

英語の学習では机の上での学習も重要だが、本物を体験しておくことも必要であるように、実際に見て体感することが大切だとわかった。アンケートにしても現地の学生さんに直に聞くことで、記入してもらったこと以上の情報を表情などから得られた。さまざまなことを経験できた今回のフィールドワークは、ゼミ生にとって実りあるものになったと感じている。これからのゼミ活動にも生かしていきたい。

## 神職となるための学びができた 参拝見学

神道学専攻科 紀ノ崎 剛



松尾大社にて

平成28年5月7日から8日にかけて、私たち専攻科は、担任の岡田登先生と石井世津子神職養成担当員の引率により、京都、奈良の神社を参拝した。初日は、石上神宮・大神神社・橿原神宮・休ヶ岡八幡宮・東大寺・春日大社と参拝した。石上、大神では古代祭祀の原風景を感じ、橿原では明治政府が国民国家を希求するにあたり、民族の原点回帰の強い指向性を見た。休ヶ岡ではその指向性から派生した、神仏分離を逃れた薬師寺の神仏習合の姿を、東大寺と春日大社では仏教勢力と藤原氏の強大であったであろう権勢を想像した。

2日目は伏見稲荷、松尾大社、北野天満宮、上賀茂神社、吉田神社、平安神宮、八坂神社を参拝した。伏見では現代まで続く全国的な稲荷信仰の奥深さを感じ、松尾では半島から帰化した人々がこの地に辿り着き、この地の産土を一族の総氏神と仰いだロマンを感じた。北野では御霊信仰に発展し学業の神様として転換する民衆の畏敬の知恵を思い、上賀茂では平安京守護の北の要として桓武天皇の大御心を感じ、吉田神社では神宮と神祇官をその野心の目的とした兼俱の斎場所大元宮を見た。平安神宮と八坂神社では京の町衆の心意気と神仏習合時代の町衆の疫病などに対する畏れに思いをめぐらした。大神・

平成27年度 フィールドワーク日程一覧 ※2・3月実施分

| 学部  | 引率教員  | 行き先             | 日 程              |
|-----|-------|-----------------|------------------|
| 国 内 |       |                 |                  |
| 文   | 木村 徳宏 | 九州              | 3 / 22(火)～25(金)  |
|     | 小孫 康平 | 九州(大分・長崎・福岡)    | 3 / 8 (火)～11(金)  |
|     | 中松 豊  | 東京・小笠原諸島(父島)    | 3 / 6 (日)～13(日)  |
|     | 深草 正博 | 沖縄(石垣島・竹富島・那覇等) | 3 / 4 (金)～ 7 (月) |
|     | 吉田 直樹 | 沖縄(石垣島・西表島・那覇等) | 3 / 4 (金)～ 7 (月) |
|     | 野々垣明子 | 沖縄(石垣島・西表島・那覇等) | 3 / 4 (金)～ 7 (月) |
|     | 井上 兼一 | 東京              | 3 / 7 (月)～10(木)  |
|     | 中條 敦仁 | 鳥取県・島根県         | 3 / 7 (月)～11(金)  |
|     | 山本 智子 | 長崎              | 3 / 7 (月)～10(木)  |
|     | 渡邊 毅  | 沖縄・宮古島          | 3 / 6 (日)～ 9 (水) |
| 教育  | 佐藤 武尊 | 東京・横浜           | 3 / 9 (水)～12(土)  |
|     | 新田 均司 | 東京都内            | 2 / 22(月)～25(木)  |
|     | 山路 克文 | 沖縄本島            | 2 / 22(月)～25(木)  |
|     | 灰谷 和代 | 沖縄本島            | 2 / 22(月)～25(木)  |
|     | 鵜沼 憲晴 | 三重県内(松阪・四日市・志摩) | 3 / 9 (水)～11(金)  |

|    |
|----|
| 海外 |
|----|

|    |                |               |                 |
|----|----------------|---------------|-----------------|
| 教育 | 小木曾一之<br>加藤茂外次 | カナダ・バンクーバー    | 3 / 4 (金)～8 (火) |
|    | 豊住 誠<br>吉田 明弘  | シンガポール        | 3 / 4 (金)～7 (月) |
|    | 中村 哲夫<br>市田 敏之 | グアム           | 3 / 4 (金)～8 (火) |
|    | 渡邉 賢二<br>元塚 敏彦 | グアム           | 3 / 7 (月)～11(金) |
|    | 梶 美保<br>高橋摩衣子  | パラオ           | 3 / 10(木)～14(月) |
|    | 片山 靖富<br>杉野 裕子 | カナダ・バンクーバー    | 3 / 7 (月)～11(金) |
|    | 教育<br>現日       | 叶 俊文<br>榎本 悠孝 | グアム             |

松尾の両社では正式参拝をさせていただいた。

2日間、大変な強行軍であった。しかし、天候には恵まれ、連休明けの所謂五月病になるヒマも無かった。各神社には皇學館出身で奉職されておられる先輩のそれぞれの一所懸命の姿があった。岡田先生は、「神がいての人であり、人あつての神であり、また、奉職する神職は、氏子のみなさんや崇敬者に対して、その神社の由緒を祭祀や歴史、考古学的な視点からも語られるようにあらねばならない」と言われた。今まで何気なく参拝してきた神社であるが、今回の参拝見学で、これからは次元の違う参拝ができ、神職となるための学びができたことは確実である。

**中学校 伊勢志摩サミット授業**

伊勢志摩サミットに向けて、社会科で「サミット学習」を行った。授業では一人ひとりが各国の代表となり、それぞれの視点から「気候変動・エネルギー」・「女性」・「保健」といった実際のサミットで議論されるテーマについて調べ、討議を通じてクラス宣言を創った。今回は3年生の「3A・3Bサミット」の様子と生徒の感想を掲載する。(社会科教諭・奥村 裕)



## サミット学習での生徒発表の様子

## 意見の違いをまとめる難しさを実感

3 年B組 山 本 怜

今回のサミット学習を通して、サミットがどのように行われているのかが分かった。しかし、クラスの中でサミットをしてみて、予想以上にそれぞれの国の意見が違い、まとめることが難しかったので、実際のサミットはもっと意見の食い違いがすごいのだろうと思った。

各国の首脳たちには、しっかりと問題に対する解決策  
を見つけてほしいと思った。

## 納得のいく話し合いが大切

3年A組 西井千湖

普段ニュースを見ているけれど、いざ討論となると、それを上手く引き出すことができなかった。こういうときのためにも、ニュースに深く目を向けることが必要だと思った。

解決策についての討論では、自分なりの意見を明確に  
 伝えようと工夫した。私は普段、発言が少ない方だが、  
 3A サミットを通じて、自分の考えを皆に発表し、また  
 他人の考えも尊重し、自分たちが納得のいくように話し  
 合いをすることが大切だと思った。小さなサミットだが、  
 自分のあり方についても考え直せた。



未来のわたしに  
会いに行こう

Ise-Shima  
Meets!

【学び体験DAY】  
 皇學館大学の  
 学びの雰囲気や  
 体験できる一日

7/10・8/7

10:30  
15:30  
日

OPEN

Kogakkan University

参加無料 予約不要

Campus 2016

「学校」見学DAY

7月9日(土) 13:00~16:00

「大学祭」同時開催DAY

10月29日(土) 10:30~15:30

未来へつなぐ日本のこころ

皇學館大学

【入試担当】 ☎516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704

TEL 0596-22-6316

皇学館

検索

受験生サイト▶  
[Campus view]  
<http://kogakkan-u.ac.jp/campusview>  
※機種により読み取れない可能性もあります。

LINE

友達追加で、大学の最新情報をGet!

# 学びの深化と進化

大学・高等学校・中学校においてフィールドワーク及び遠足、伊勢志摩サミット授業が実施された。五感を通して体にしみ込んだ学びは何にも代えがたく、未来へ飛躍するための土台となるもの。以下に学生・生徒の感想を紹介する。

## フィールドワーク・遠足・伊勢志摩サミット授業報告

### 大学 フィールドワーク

#### 道徳・歴史教育の必要性を肌で感じる

渡邊教ゼミ

教育学科3年 溝口哲志

3月6日から9日にかけ、我々道徳教育ゼミは研究旅行で宮古島と沖縄本島を訪れた。気温は暖かく緑豊かな木々と青く澄み渡った海が広がり、市街は多くの観光客で賑わっていた。豊かな自然に触れ、また現地の人々とも交流することができ観光も満喫できた。

この旅行で我が国には命がけで外国人を助けた誇らしい歴史があることを知った。我々の訪れた『うえのドイツ村』では、宮古島の人々によるドイツ商船ロベルトソ



沖縄の聖地 斎場御嶽にて

ン号の救出劇について学べることができた。高波の中、勇敢に漂流する人たちを救出し、その後も村では簡易宿泊小屋が村人により作られ、病人、負傷者の手当てが行われ、彼らが故郷に帰れるまで手厚く保護した話を聞き感銘を受けた。さらに当時のドイツ皇帝から博愛記念碑が贈呈されたことにも驚いた。

このように人気観光地として知られ誇らしい歴史を持つ沖縄だが、かつては大東亜戦争時に本土決戦が行われ、数多くの命が失われた地でもある。そのため我々は戦争時に縁のあった旧海軍司令部壕を訪れた。壕の工事はすべて手作業で行われていたそうで、壁を見ると手で掘った跡が見られた。手榴弾による自決が行われたという幕僚室の壁にはその際飛び散った破片の跡があった。壕内を見学することにより、普段では感じることはできない当時の人々の苦労や気持ちを自らの肌で感じる事ができた。

ほかにも、自らの危険を顧みず自国のために海を渡った久松五勇士や、不発弾処理や離島の急患を助けるため日夜働く自衛隊員の話も聞くことができた。

フィールドワークを通して、私は現在注目されていない日本人の活躍や功績等を見直し、道徳教育や歴史教育を通して子どもたちに伝えることが大切だと思った。それがやがて、子どもたちが自国に対し愛国心や誇りを持ち、日本の発展にも繋がるのだ。教科化が実現した道徳教育について我々が考えなければならない課題は多い。

#### 実際に見て体感することが大切

杉野裕子ゼミ

教育学科3年 武田紗季

私たち算数ゼミは、約10時間のフライトを経てカナダ・バンクーバーに到着した。バンクーバーは日本との時差が16時間。面積は115平方キロメートルとブリティッシュコロンビア州最大の都市である。旅行中に訪れたスタンレーパークはビーチを囲む緑や、9つのトーテンポールがあり、景色を楽しみながらサイクリングやランニング、ウォーキングや散歩ができる市民のための公園となっている。一方で、高層のビルやお店が立ち並ぶダウンタウンやギヤスタウンのような場所も存在する。自然の豊かさと都会らしさの両方を兼ね備えた美しい街だ。

今回のフィールドワークで英語を話せることの大切さを痛感した。国外へ出るということは、視野を広げるためにも、実際の英語環境に触れられるという点でもいいことである。幸運にも私たちは、ある一人のゼミ生のおかげでより貴重な経験を得ることができた。2日目に訪れたブリティッシュコロンビア大学(UBC)で、現地の大学生に算数・数学を学ぶ意義についてアンケートをとることができたのである。ゼミ生全員で手分けして、卒業論文の資料のためのアンケートをお昼休憩中の学生さんたちに英会話でお願いした。同年齢くらいの学生さんと日本とカナダの大学について話すこともできた。

### 高等学校 春の遠足 4月20日水

#### 非日常から日常へ

1年7組 尾間彩葉

入学式から2週間経たないうちに、私たちは鈴鹿サーキットへ遠足に行った。まだ高校生活に慣れておらず、友だちもそれほどできていない状態だったので、かなり緊張しながらの出発だった。私たちのクラスはバスの中で校歌と応援歌を歌い、一人ずつ自己紹介をした。皆で元気に声を出して熱唱できたので、団結が強まったと思った。自己紹介では、皆の意外な一面を知ることができてよかった。そしてこのクラスで1年間過ごすと思うと徐々に楽しみになっていった。

園内は空いていたので、たくさんのアトラクションに乗ることができた。遊園地に行くのは随分久しぶりだったのでとてもはしゃげて楽しかった。昼食は普段食べることができない珍しいものを売店で買って食べた。

入学以来、毎日が初めてのことばかりだった。今回の「遠足」という非日常は、新しい友だちと高校最初の思い出を作ることができ、これからの高校生活を「日常」とする絶好の機会となった。



クラス毎に集合写真を撮影

#### 新しい友と過ごした充実の時間

2年6組 田中華帆

私たちの学年はスペイン村に行った。私のクラスは文系と理系の人々が混じっている文理混合クラスで教室を移動する授業が多く、全員で一緒に受ける授業が少ない。自ずとクラスの人たちと話す機会が少ないため、この遠足を楽しめるかどうか少し不安だった。でも、スペイン村に着いてクラスの集合写真を撮るのを待っているときに何人かのクラスの人と話ができ、楽しめそう、いや、このメンバーで楽しもうと思った。自由行動のとき、クラスが分かれてあまり話さなくなった人や、校舎が違うので普段はあまり話さない特進の人や六年制の人とも喋れたのでとても楽しい一日になった。私はスペイン村に遠足に行ったのは小学校、中学校に続いてこれが3回目だった。しかし3回とも一緒に行動した人が異なり、乗り物も違い、自由時間の長さも変わっていて、同じスペイン村でも楽しみ方はいろいろあるのだと思った。帰路のバスに乗っている時間はとても短く感じ、一日が終わるのも早く感じたくらいにとっても充実した遠足にすることができた。



アトラクション前で友人たちと

#### 記憶に残る観覧車の思い出

3年10組 中川栞菜

「ナーツィーゴンヤー！」友人が観覧車の中で急に叫んだ。ライオンキングの第一声らしい。私は高所でテンションが上がりすぎた友人の突然の行動に不意をつかれて大笑いした。もはや観覧車からの景色はそっちのけで、それが何の台詞であるのかその友人が熱心に語っていたのもまた面白かった。日本一の高さを誇るジェットコースターなどさまざまなアトラクションがあるナガシマスパーランドに行ったのに、思い出すのは観覧車かとツツコミが入りそうな気もするが、記憶に残るのは案外こういう場面だったりする。帰り道の電車で一人、元ネタの動画を見て笑いを必死にこらえたのもいい思い出だ。

私たちははいよいよ受験生となり、高校生活も残り1年を切った。何もかも「最後」と名の付く行事の中で、今回の遠足もまた将来きっと笑い話として花を咲かせてくれると思う。そんな未来を期待しながらそれぞれの夢に向かってこれからの残りの日々を過ごしていきたい。



仲良しグループで一枚！

## 写真部4名の作品が サミット歓迎用行灯に



「WELCOME ISE-SHIMA」の文字とともに白黒写真が浮かび上がる行灯。行灯の和紙には県指定伝統工芸品「伊勢和紙」が使用されている

行灯は三月二十六日からサミット最終日の五月二十七日まで点灯。坂中さんは「自分の作品がサミット歓迎用の行灯に使われて嬉しい。私の写真は宇治橋を渡る人々のシルエット写真ですが、行灯の中で光に照らされるとシルエットの部分が一層強調されるのでその美しさを多くの方に見てほしい」と喜びを語った。

写真部の部員四名の作品がJR伊勢市駅前広場に設置されたサミット歓迎用の行灯に採用された。これは、昨年十二月に伊勢市から依頼を受けた三重県高等学校写真連盟の呼びかけに応じたもの。本校写真部から夫婦岩や内宮、外宮の佇まいなど三十二点の作品を提出した結果、佐藤優さん(三年九組)、坂中奈波さん(二年七組)、田畑舞香さん(二年七組)、上野祐生君(二年八組)の作品が選ばれた。

## 神宮参拝などの経験が役立つ

三年九組 中川 未友紀



私は四月二十五日、二十六日の二日間、ジュニア・サミット参加者の体験・交流行事において世話役ボランティアをしました。

伊勢志摩サミットの関連イベント「2016年ジュニア・サミットin三重」が四月二日から二十八日にかけて桑名市を主会場に開催され、本校三年九組の中川未友紀さんがサミット参加者の世話役ボランティアとして活躍した。以下に中川さんの感想を掲載する。

一日目は桑名市のナガシマリゾートに集合。各国の参加者は私とほぼ同じ年齢なのにとても大人っぽく見え、緊張しました。伊勢に向かうバスの車内で伊勢市や内宮について質問されたときは、事前に調べてあったので英語で説明できました。内宮を参拝した際、各国の参加者から宇治橋や手水舎、正殿について尋ね

られたときも英語で答えることができました。総合学習で勉強したことや神宮参拝の経験がとても役に立ったと思います。また、その後のいつきのみや歴史体験館を訪れ、茶道体験や平安装束体験、古代の遊びである盤双六をして楽しめました。サミット参加者は日本古来の文化に触れ感動していたようでした。二日目は外務大臣や三重県知事などがご臨

## 歴史に新たな一ページ

### 新入生対面式

陽春の光がまぶしく感じられる四月十二日、対面式が行われた。緊張と期待に満ちた表情の新入生と、落ち着いた面持ちの中に頼もしさがあるか

がえる二、三年生をあわせ千人を超える生徒が一堂に会し、皇學館高校の歴史に新たな一ページが加えられた。新入生を代表して挨拶したのは、入学式でも宣誓という大役を担った山川ひよりさん(二年七組)だ。山川さんは挨拶の中で「二、三年生の先輩

方と一緒に、一生懸命勉強やクラブ活動に励みたい」と力強く語り、早くも皇學館生としての意欲が芽生えた様子を见せていた。一方、校友会総務委員長を務める小林聖也君(三年八組)は「皇學館生としてのルールを守ってしっかりとした行動をとり、勉強やクラブ活動を通して最後まであきらめない粘り強い人になってください」と新入生を激励した。

また、坂中さんは六月二日の伊勢市長との対談にも撮影者代表として参加した。

また、坂中さんは六月二日の伊勢市長との対談にも撮影者代表として参加した。

## 保護者会・後援会の総会開催

五月十四日午後、セミナーホールにて平成二十八年度の保護者総会・後援会総会が開催され、多くの保護者の方々に参加していただいた。今回は中高ともに午前中の公開授業に続いての実施となった。



挨拶に立つ保護者会長の谷本氏

両総会では山口建史常務理事、上村桂一校長からの挨拶のあと、平成二十七年事業・決算報告から審議が行われた。司会は、中学校が役員の吉田吉里氏、高校は畑中隆総務部長が担当し、途中、新役員の紹介を挟んで平成二十八年度の事業計画・予算案の審議が行われた。議事は滞りな

く進行し、議案はすべて賛成多数により可決・承認された。議事のあとはパワーポイントを活用し、中高生たちの活躍の様子が小林誠治教務部長(中学校)、多田真二教頭(高校)により紹介された。両総会

の最後には、中高の新任教職員がそれぞれ紹介された。続いて皇學館大学倉陵会館に会場を移し、保護者・教職員の交流の場として、合同の懇親会が開かれた。懇親会では高校保護者会長の谷本保明氏による挨拶後、中学校保護者会長の竹内久仁子氏が乾杯の音頭をとると、参加者は飲み物を手にテーブルに並べられた料理に舌鼓を打ちながら、和やかな談笑の時間を楽しんだ。

最後は後援会会長の廣耕太郎氏による一丁締めですべての日程を終了した。

## 皇學館中学生としての第二步

### 対面式・新入生オリエンテーション

四月八日にセミナーホールで対面式が行われた。会場に控え、拍手で迎える二、三年生の間を初々しい新入生たちが入場した。在校生を代表して宇城幹土君(三年)が歓迎の言葉を述べると、新入生を代表して藤田晃輝君が「よろしくお願いします」と挨拶をした。その後は恒例となっている物真似&クイズ形式による中学校教員紹介などがあり、会場はすっかり和やかな雰囲気になった。

### ためになったオリエンテーション

一年A組 里中 李帆

皇學館中学校は教室がたくさんあって驚きました。移動教室の時は十分前に準備をして準備をして移動できるようにしたいです。一カ月ぐらいは迷いそうですが、だんだん教室も覚えていききたいと思います。

### 皇中生として頑張りたい

一年B組 近藤 智郁

オリエンテーションで伊勢神宮へ行き、参拝してきました。日が経つにつれ、どんどん私は皇學館中学生としての色が濃くなってきました。これから少しの間は不安があると思います。それでも二、三年生の先輩方、先生方

が教えてくださると思います。小学校とは比べものにならないくらいの勉強量と新しい仲間とのつながりがまた一歩、私を皇學館中学生に近づけてくれると思います。毎日の積み重ねを大切に頑張りたいと思います。

## Skypeを活用し実践力を養う

国際化が進展する現代社会において、本校では「世界で活躍できるグローバル人材の育成」を目的とするさまざま

なプログラムを展開している。その中で、実践的コミュニケーションの機会を増やす施策の一つとして、Skype(スカイプ)を用いたプログラムを進めている。姉妹校であるローズヒル校とはすでにSkypeを介した交流を実施。生徒たちは緊張しながらも実際のコ



Skype交流を楽しむ生徒たち

は緊張しながらも実際のコミュニケーションを楽しんでいる。姉妹校以外にも、さまざまな国の生徒たちと異文化交流を図るべく、外部事業等も活用しながら積極的に進めていく予定だ。実際のやりとりを通して英語の運用力を向上させるとともに、異なる文化や考え方に実際に触れながら多文化共生への意識を高めてもらいたい。

教務部部長 小林誠治



新入生代表として挨拶を述べた藤田晃輝君

# 人事異動

平成28年4月1日付●（）内は旧職

## 大 学

文学部教授 特別教授

半田 美永

採用

文学部准教授

板東 洋介

文学部助教

桐村 喬

文学部助手

田井 健治

教育学部教授

駒田 聡子

教育学部助教

小幡 章子

研究開発推進センター助手

小林 郁

学生支援部書記補

井上 宗

学生支援部事務嘱託

板垣 史郎

附属図書館事務部事務室

事務嘱託

北川 靖執

附属図書館事務部事務室

事務嘱託

森本 紋菜

再任用

教育学部教授(特命教授)

深草 正博

任用更新

文学部教授(特別教授)

上野 秀治

文学部教授(特別教授)

櫻井 治男

文学部教授(特別教授)

白山芳太郎

学生支援部主事

諸岡 大輔

総務部主査

高木 曹慈

配置換及び職群配置

学校法人皇學館監査室室長

川口 昭二

学校事務部部長

水本 昌克

学生支援部部長

中井 良明

企画部地域連携推進室地域連携推進担当課長

森 正樹

職群変更及び配置換

財務部技手

後藤 宗樹

出向

公益財団法人大学基準協会

荒木 徹

採用

皇學館高等学校常勤講師

上野 章夫

皇學館高等学校常勤講師

出口 大貴

皇學館高等学校常勤講師

堀山 玄太

## 人事制度の改定について

学校法人皇學館 事務局長 西谷 豊

私学を取り巻く厳しい経営環境を乗り切るための組織力強化、活性化を目的とし、本法人の規模・経営目標に見合った、独自の人材育成・人材活用の仕組みを構築するために、このたび、人事制度の改定を行いました。このことについては、平成二十四年度に策定された中期経営改善計画にもあられ、平成二十六年の常勤理事会において、人事制度の改定についての検討が承認されてから、具体的な検討が始まりました。法人の事務職員については、平成二十六年五月、高等学校・中学校教員については、同年九月、大学教員については、平成二十七年四月にそれぞれ人事制度検討プロジェクトを組織しました。そして、事務職員と高等学校・中学校教員については、昨秋に、新人事制度がまとまり、関係職員への説明会、研修会等が行われ、平成二十八年三月の理事会で承認を経て、四月より、試行期間として実施となりましたので、その一端を紹介いたします。

新人事制度は、事務職員は、等級制度、評価制度、給与制度からなり、高等学校・中学校教員は、職級制度、評価制度、給与制度から構成されています。いずれも評価制度において目標管理を取り入れ、年度当初に全員が一年間の業務目標を評価者と面談の上決定し、それを評価に反映することになります。いままでは、組織としての業務目標は定めていたが、それを達成するために個人の業務目標とその達成方法、手段と達成基準を具体的に明らかにし、その結果を検証・評価することにより、さらに、学校法人皇學館の運営・教育目標達成につながるのではないかと期待しております。

なお、大学教員の人事制度については、すでに大学教員は毎年度教育・研究計画書と報告書を記述し、その成果を教育研究データベースで公開し、授業評価アンケート等でそのほとんどの活動が可視化されておりますので、それらを総合的に評価し、さらなる改善につなげるための活用方法についてプロジェクトで検討を重ねていくところで、皇學館が始まって以来の人事に係わる制度改定ですが、今後も一層の制度の充実に務めたいと思っております。

## 「桜を見る会」参加記

国史学科教授 松浦 光修

安倍総理が主催し、東京の新宿御苑で行われる「桜を見る会」というものがある。その招待状が自宅に届いた。と言いつつ、四月九日、朝八時、知人たちと「大木戸門」の前に集まり、開門を待った。俳優の草刈正雄さんが、私たちより早く来て、開門を待っていた。内閣官房参与・飯島勲さんの姿を見かけたので、ご挨拶し、開門と同時に苑内に入る。すると、たまたま旧知の国会議員と会ったので、「〇〇くん、どうです」と訊くと、「走りまわってますよ」と笑顔でおっしゃる。「〇〇くん」は、三月に卒業したばかりの私のゼミの男子で、四月からその方の秘書をしている。それでは、もう走り回らせてください」と言っておいた。

ソメイヨシノは散りかけていたが、八重桜は満開に近く、幸い天候にも恵まれた。つぎつぎと芸能人やスポーツ選手たちが到着して、人々は、しきりにシャッター音を響かせはじめた。近ごろ私は、テレビが嫌いになり、あまり見ないが、それでも「ナントカ48」など、どこかで見たような人たちが、開門を待っていた。内閣官房参与・飯島勲さんの姿を見かけたので、ご挨拶し、開門と同時に苑内に入る。すると、たまたま旧知の国会議員と会ったので、「〇〇くん、どうです」と訊くと、「走りまわってますよ」と笑顔でおっしゃる。「〇〇くん」は、三月に卒業したばかりの私のゼミの男子で、四月からその方の秘書をしている。それでは、もう走り回らせてください」と言っておいた。

ソメイヨシノは散りかけていたが、八重桜は満開に近く、幸い天候にも恵まれた。つぎつぎと芸能人やスポーツ選手たちが到着して、人々は、しきりにシャッター音を響かせはじめた。近ごろ私は、テレビが嫌いになり、あまり見ないが、それでも「ナントカ48」など、どこかで見たような人たちが、開門を待っていた。内閣官房参与・飯島勲さんの姿を見かけたので、ご挨拶し、開門と同時に苑内に入る。すると、たまたま旧知の国会議員と会ったので、「〇〇くん、どうです」と訊くと、「走りまわってますよ」と笑顔でおっしゃる。「〇〇くん」は、三月に卒業したばかりの私のゼミの男子で、四月からその方の秘書をしている。それでは、もう走り回らせてください」と言っておいた。

## 皇學館の名を世界へ！ ジャパンガイドに英語サイトを開設

本学では伊勢志摩サミット開催を機に皇學館大学ブランドを広く世界にアピールしようと、英語特設サイトを立ち上げた。サイトはメイヨウ先生の伊勢散歩や学生による本学の紹介、伊勢志摩のマップなどで構成されており、発信の第一弾として、毎月およそ百六十万人以上のユーザーが訪れる訪日外国人向け日本情報ポータルサイト「ジヤパンガイド」に英語サイトを開設した。



今後はツイッターやフェイスブックなどSNSを活用し、同サイトを通じて皇學館の名を世界へ発信していく予定だ。

## 学生が「伊勢志摩百物語～麗しき島々～」発刊



神道学科の学生六名と大学院生一名が伊勢志摩に点在する島々、地域の魅力を発信しようと、グループを結成。約一年をかけて十三の「島」を取材し、地元の出版社・伊勢文化舎の編集協力のもと冊子「伊勢志摩百物語～麗しき島々～」を発刊した。

## 一年かけ島の魅力を取材

ト。いずれも学生が現地へ赴き、地元の人々に話を聞いた史料を調べたりしてまとめた。メンバーのひとり、神道学科三年の足立涼君は「菅島と間崎島を訪れたが、島民の信仰の篤さが印象に残った」と語り、同二年の伊藤りかさんは「文庫のページをめくる作業はいいえの時間軸を旅しているような楽しい時間だった」と話した。

顧問を務めた櫻井治男文学部特別教授は「学生が交わることで、地域で育つ、地域が育つ」ことにつながれば」と今回の取組みの意義を話す。冊子はA5判三十二頁。希望者には五十部限定で郵送している。なお、左記ウェブサイトでも公開中だ。

太公式ウェブサイト <http://www.kogakuen-u.ac.jp/html/literature/shinro.php>

## 就任のご挨拶 校長 上村 桂一



本年四月、高等学校・中学校長を拝命致しました。本紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。本校は、学園の建学の精神のもと、地域の厚い信頼を得て発展してまいりました。しかし、本校を取り巻く環境を見ると、今、重要な局面に差しかかっていると考えています。

一つは、学校教育における学力観の転換が求められていることです。ある研究者は、これを「学びのゴールが変わろう」としている」と表現しましたが、情

二つには、生徒数の減少があげられます。とくに当地域は顕著で、今後五年間で十五歳人口が大規模高等学校一校に相当するほど減少します。このように、本校は難しい状況に置かれていますが、しかし、時代の要請に即した教育体制をいち早く整えて、地域を超えての評価と信頼を得ることができれば、この局面は、本校が大きく飛躍する機会であるとも捉えることができます。本校が大切にしている「日本人としてのアイデンティティ」を培う教育も、グローバル化が進む中で重要性

経歴 上村 桂一 (満64歳)  
S50年3月 富山大学理学部数学科 修了  
S50年4月 三重県立富山高等学校 教諭  
S60年4月 三重県教育委員会事務局教職員課 課長  
S62年4月 三重県立志摩高等学校 教諭  
H2年4月 三重県教育委員会事務局教職員課 管理主事、県立学校人事係長、主幹兼統括管理主事、調整係を歴任  
H6年4月 皇學館高等学校 校長  
H15年4月 三重県立上野高等学校 校長  
H19年4月 三重県立伊勢志摩高等学校 校長  
H24年4月 皇學館高等学校 校長  
H28年4月 皇學館高等学校 中学校校長に就任

## イベント情報(6~8月)

|     |                                                                                               |  |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 6月  | 25 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>神道と仏教—神社仏閣に見る神仏習合と神仏分離—<br>「書寫山園教寺における神仏習合と神仏分離」<br>河野 訓(文学部教授)  |  |
|     | 25 土 佐川記念神道博物館 教養講座 佐川記念神道博物館講義室<br>学芸員が語る三重の文化と魅力Ⅲ<br>「松浦武四郎と伊勢神宮」<br>山本 命(松浦武四郎記念館主任学芸員)    |  |
| 7月  | 30 木 皇學館大学人文学会 第96回研究例会 224教室<br>田山花袋『時は過ぎゆく』の同時代性<br>—「空」をめぐるモチーフを出発点に—<br>小堀洋平(文学部助教)       |  |
|     | 2 土 月例文化講座 431教室<br>乗りあうことでつながる交通<br>笠原正嗣(現代日本社会学部教授)                                         |  |
| 8月  | 2 土 研究開発推進センター史料編纂所古文書講座 佐川記念神道博物館講義室<br>第2回 古代文書を読む<br>荊木美行(研究開発推進センター副センター長・教授)             |  |
|     | 6 木 研究開発推進センター神道研究所 公開学術講演会 231教室<br>殯・殯宮と王宮・葬地<br>西本昌弘(関西大学文学部教授)                            |  |
| 9月  | 9 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>古事記を読み解く—天若日子の反逆—イワレヒコ誕生の段 ニニギの命の誕生—天孫降臨<br>白山芳太郎(文学部教授)          |  |
|     | 10 日 みえアカデミックセミナー2016 三重県文化会館レセプションルーム<br>日本人の信仰とその思想<br>白山芳太郎(文学部教授)                         |  |
| 10月 | 16 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>「日本書紀」を読む<br>「磯敷島での聖婚と大八洲国の誕生(2)」<br>大島信生(文学部教授)                 |  |
|     | 23 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>神道と仏教—神社仏閣に見る神仏習合と神仏分離—<br>「江島神社における神仏習合と神仏分離」<br>河野 訓(文学部教授)    |  |
| 11月 | 30 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>1日・短期講習会 なぜ、若者は神社を目指すのか?<br>—聖地巡礼の現代的な変容から—<br>板井正齊(教育開発センター准教授) |  |
|     | 6 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>「日本書紀」を読む<br>「天照大神・月夜見尊・素戔鳴尊の誕生(1)」<br>大島信生(文学部教授)                |  |
| 12月 | 20 土 皇學館大学共催講座 近鉄文化サロン阿倍野<br>古事記を読み解く—天若日子の反逆—イワレヒコ誕生の段 猿女君のいわれ—コノハナサクヤヒメとの結婚<br>白山芳太郎(文学部教授) |  |

- 各講座の詳細につきましては、**本学ホームページ**にてご確認ください。
- 共催講座(近鉄文化サロン阿倍野)のみ、**有料**です。お問い合わせは近鉄文化サロン阿倍野(☎0120-106-718)へお願い致します。
- 佐川記念神道博物館教養講座は、事前の申込みが必要になります【先着順】。お問い合わせは☎0596-22-6471へお願い致します。
- 研究開発推進センター史料編纂所公開講座・古文書講座は、事前の申込みが必要になります【先着順】。お問い合わせは☎0596-22-6462へお願い致します。
- その他お問い合わせは、皇學館大学地域連携推進室(☎0596-22-8635)へお願い致します。

**編集後記**

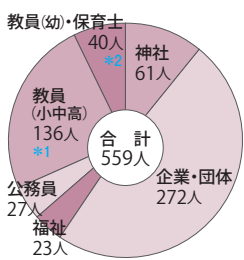
伊勢志摩サミットが無事に開幕しました。神宮を訪問した各国首脳からは、聖なる場所に行くことができて感動した(伝統の継続性と悠久の歴史を感じた)などの感想が寄せられ、海外メディアからの取材は以前の十倍に増加するなど、日本の精神文化が世界に発信される意義深い機会となりました。本学園においても学生、生徒がボランティアとして活躍、また(皇學館の名を世界へ広めるべく多彩な取り組みが行われた一年でありました。この盛り上がりを一過性でせず、起点として地域の活性化、発展につなげていきたいものです。

【企画部】

学生は学業に集中すべきとの意向から平成二十七年卒業生(平成二十八年三月卒業・修了)における就職活動では広報活動の開始が三年生の三月、採用選考開始が四年生の八月と後ろ倒しの日程でスタートしたが、採用活動の長期化や中小企業における内定辞退者数の増加など種々の問題が

## 就職率は98.4%と高水準を堅持

## 平成27年度 卒業生就職状況



平成27年度卒業生  
分野別就職者 H28.5.1現在  
\*1:うち87名は講師  
\*2:うち9名は臨時

一三六名(正規/公立四十七名・私立二名、講師/八十七名)が教員(小・中・高)として、四十名(正規/公立十二名、私立十九名、臨時/九名)が幼稚園・保育園に就職した。とくに三重県小学校については全合格者二五二名のうち本学の学生は七十六名(過年度卒業生を含む)と占有率はおよそ三割をマーク。昨年に続き県内トップの座を堅持した。

なお、大学七六二校のデータを網羅した『大学

一般の企業・団体へは二七二名(前年二七〇名)が就職を決めた。業界別

では卸売業・小売業、サービス業が中心となった。

## 卸・小売・サービス業が中心

## 一般企業関係

公務員関係では、伊勢市役所一名、伊賀市役所二名、志摩市役所一名、鈴鹿市役所二名、松阪市役所一名、大紀町役場一名、自衛隊一般曹候補生一名、警察官七名(三重県警六名、奈良県警一名、松阪地区広域消防組合二名の計十九名が正規採用となった。他に一年以上の臨時採用者が八名おり、合計で二十七名が就職。前述の『大学ランキング2017』によると、警察官採用数は東海圏において第七位であった。

## 計二十七名が就職

## 公務員関係

ランキング2017(朝日新聞出版)によると、本学の小学校教員採用数は東海圏で第五位の位置に

## 就職率一〇〇%を達成

## 神社関係

平成二十八年三月の卒業生六六名の就職状況は、就職希望者五六八名のうち就職決定者は五五九名と、就職率九八・四%を記録(表1参照)。昨年同様、高水準となった。また、卒業生全体に占める就職者の割合は八三・九%(前年比四・一ポイント増)となった。

以下に分野別の詳細を報告する。

| 学 科       |   | 卒業生数<br>A | 就職希望者数<br>B | 就職者数<br>C | 就職率<br>C/B |
|-----------|---|-----------|-------------|-----------|------------|
| 神 道       | 男 | 74        | 63          | 63        | 100.0%     |
|           | 女 | 12        | 9           | 9         | 100.0%     |
| 計         |   | 86        | 72          | 72        | 100.0%     |
| 国 文       | 男 | 42        | 36          | 35        | 97.2%      |
|           | 女 | 46        | 36          | 36        | 100.0%     |
| 計         |   | 88        | 72          | 71        | 98.6%      |
| 国 史       | 男 | 55        | 51          | 47        | 92.2%      |
|           | 女 | 44        | 32          | 32        | 100.0%     |
| 計         |   | 99        | 83          | 79        | 95.2%      |
| コミュニケーション | 男 | 46        | 41          | 40        | 97.6%      |
|           | 女 | 26        | 21          | 21        | 100.0%     |
| 計         |   | 72        | 62          | 61        | 98.4%      |
| 教 育       | 男 | 101       | 83          | 83        | 100.0%     |
|           | 女 | 131       | 115         | 115       | 100.0%     |
| 計         |   | 232       | 198         | 198       | 100.0%     |
| 現代日本社会    | 男 | 57        | 50          | 48        | 96.0%      |
|           | 女 | 32        | 31          | 30        | 96.8%      |
| 計         |   | 89        | 81          | 78        | 96.3%      |
| 合 計       | 男 | 375       | 324         | 316       | 97.5%      |
|           | 女 | 291       | 244         | 243       | 99.6%      |
| 計         |   | 666       | 568         | 559       | 98.4%      |

保護者対象  
就職講演会・  
説明会のご案内

開催日●7月16日(土)

就職講演会 13:00~14:20

就職活動を支える  
親子コーチングの活用方法

講師●就職コンサルタント 本田 勝 裕 氏

会場●621教室(6号館2階)

進路別就職説明会 14:30~15:10

神社への就職について  
神職養成担当 会場●622教室(6号館2階)教員・保育士への就職について  
教職支援担当 会場●621教室(6号館2階)企業・官公庁への就職について  
就職担当 会場●722教室(7号館2階)お問合せ先  
学生支援部就職担当 TEL0596-22-6319

## 皇學館ミュージアム



歌舞伎衣裳 着付け  
白地下 藤文様 繡

江戸時代末~明治 一領 桁63.5寸 丈168.0寸

## 登場人物の心を語る文様

白の地色に背面を中心として全面に赤・紫色の下り藤と藤棚とが文様化されている衣裳です。文様は全て繡刺繡により表現されています。蔓には金糸を贅沢に用い、その間に葉を配するなど巧みな繡技法が駆使されています。華やかで優美な雰囲気有する着付に仕上げられています。

などの娘役や武家女など武家の婦人役に使用されています。若い娘や武家婦人の華やかで清楚な趣が観客に伝わるよう配慮されています。これは時代物の武家婦人役に用いられたものと思われます。

(伊勢 千屋屋資料のうち)

研究開発推進センター  
佐川記念神道博物館 学芸員・教授  
岡田芳幸

学生生活、最後の思い出に!  
卒業式に袴を着よう!県内最初の展示会で、お気に入りのを見つけよう!  
早期予約会開催

日時 7/13(木)・14(金) 10:00~16:00

場所 9号館1階  
小会議室(皇學館サービス前)男性の紋付袴も  
取り揃えてあります

## 皇大生スペシャル特典

- 1 当日外宮前特設会場で着付・ヘアアレンジができるので、手ぶらでラクラク!
- 2 祝賀会後、学内で脱いでそのまま帰れるのでとても便利!
- 3 お衣裳代レンタル価格より10%OFF
- 4 半巾着、きんちゃく、草履を無料レンタル
- 5 謝恩会のゲストドレスがどれでも6,000円でレンタル!

皇學館サービス株式会社は  
学校法人皇學館100%出資会社です。  
【取扱商品】各種保険・下宿斡旋・  
旅行・貸衣裳・スーツ他

衣裳提携先  
プライダルファッション  
SUGISHIN

お問い合わせ

KOGAKKAN Service Co., Ltd.

皇學館サービス株式会社  
TEL 0596-22-8561 E-mail k-service@kogakkan.co.jp